

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
市立知的障害者福祉センター	管理者 村井 賢一

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
<ul style="list-style-type: none"> ・心理士による療育相談（月1回） ・障害者・児の相談・支援（個別支援）支援計画の作成 ・主に知的障害者の日中活動のスムーズステップとしてのサロン（相談） ・当事者活動・自主グループ・サークルの支援（ボランティアの養成） ・サロン活動のなかでのピアサポート ・支援者の連携、情報交換（あかつきひばり園、隆光学園相談支援事業とのイベント 共催、連携） 	i~naサポーター会議（基本月1回）

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
<ul style="list-style-type: none"> ・サロン、当事者活動支援におけるボランティアの確保・養成 ・ピアサポートの意味合いの取り組み強化のための備品整備（府ピアサポート強化事業活用） ・個別支援計画の作成・連携機関との情報共有のためのi~naサポーター会議の定例化 ・市民、当事者向けの啓発のとりくみ ・学校との連携体制の充実

<p>その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。</p>

寝屋川市地域自立支援協議会

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
あかつき・ひばり園 相談支援事業所	園長 山崎 猛

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
<p>実施事業所が就学前通園施設であるため、児童に特化した相談支援を実施している。</p> <p>生活全般および療育に係る相談業務を行う。</p> <p>福祉サービスの利用および社会資源の活用のための情報提供、相談業務を行う。</p> <p>地域の相談事業所の情報を利用者に適正に提供する。</p> <p>面接によるアセスメントを実施し、サービス利用計画の原案を作成し、計画の検討をする。</p> <p>利用者に対してモニタリングし、必要に応じてサービス利用計画の変更を行う。</p> <p>専門機関の紹介および、市内の相談機関（健康増進課・こども室・寝屋川保健所・中央子ども家庭センターなど）との連携を行い、相談支援の充実を図る。</p>	<p>月1回療育相談室会議 月1回寝屋川市障害児関係協議会 実務者会議</p>

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
<p>「寝屋川市障害児関係協議会実務者会議」は、寝屋川保健所、中央子ども家庭センター、寝屋川支援学校、交野支援学校、教育委員会学務課・教育指導課・社会教育課、健康増進課、こども室、家庭児童相談室、障害福祉課、児童ディサービスどんぐり教室、あかつき・ひばり園が参加し、乳幼児から学童児を中心とした18歳未満の障害児を対象に、保健・福祉・教育に関する意見交換を行っている。H20年度課題として確認している点は以下の内容である。</p> <p>保育所・幼稚園における障害児保育の充実の課題。特に、H19年度から民間保育園での障害児保育が始まり、その動向や 公立保育所の民営化が進むなか、今後の保育所における障害児保育の取り組み状況について。</p> <p>公立幼稚園での特別支援教育の推進に向けて、体制や取り組みについて。</p> <p>平成19年度から本格実施した特別支援教育の動向をふまえて、就学前の機関（幼稚園、保育所、あかつき・ひばり園）と小学校との引継ぎ等連携について。教育指導課の巡回相談員と市内各機関の発達相談員との連携について。</p> <p>留守家庭児童会がH20年度より全校非常勤化される中で、障害児や養育問題を抱える家庭への対応について。特に、どの留守家庭児童会も定員がいっぱいのなか、高学年障害児が利用できる資源が少ない問題について。</p> <p>どんぐり教室の待機児への対応について。</p> <p>あかつき・ひばり園の今後のあり方について。</p>

その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・学童期の療育支援の資源が乏しい。 ・日中一時支援や、短期入所の利用ができる事業所が少ない。

ご協力ありがとうございました・・・

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
隆光学園相談支援事業	牧野 義蔵

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
<p>市内在住の障害者（主に知的）に対する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援、情報提供、制度説明、事業所紹介、申請代行、生活支援 ・アドボカシー支援、契約の立会い支援、年金や後見制度についての支援 ・余暇活動支援（輝きステーションでの輝き市・サークル活動での外出支援） ・療育相談（隆光学園在宅療育相談）児童音楽療育教室（サモックホール） <p>相談支援ネットワーク会議 i~naiふれあいサポーター会議（知的相談事業所4箇所）</p>	1回/月

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
<p>在宅での生活が困難になった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護者の死亡、長期入院、虐待、などの理由による緊急かつ長期的な、受け皿（資源）は、入所施設のショートステイが主とされているが、現状はどこも飽和に近い状態であり、仮に入所してもその後の支援の方向性や展開など、本人支援以外の部分の支援に関しての体制が組み立てられておらず問題が長期化していく傾向にある。 ・ケアホーム、グループホームといったサービスについての利用の場合 サービスの性質上、緊急的な利用は困難であると思われるが、各事業所の情報や募集状況などについての情報がつかみにくい。 <p>児童の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学後児童（学齢期）の療育に関する相談があり、OT,ST,PTによる療育相談の希望が多く出ている。 <p>例えば、うまく飲み込めない児童の食事トレーニング、言葉の相談、など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校の児童の相談。学校と家庭の間を埋める存在として、特別支援教育コーディネーターと相談事業の協働 <p>高齢障害者の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で在宅やケアホームで生活している障害者が65歳を超えた場合のサービスの利用について、障害、高齢と横断的に福祉サービスの利用が必要になった場合の本人主体のケア計画の立て方。 ・入所施設で生活している場合

その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・全国で言われていることながら、福祉従事者のマンパワーの不足。人員の育成や確保。行政で行なわれる福祉報酬の改善もさることながら、仕事としての魅力をどう訴えていくべきか。 ・行動援護、重度訪問介護などの事業の活用は、日中活動と合わせトータルに考え、個人を支援する必要があります。ケアマネ手法を活用し、自立支援協議会の支援スタッフ部会（実務部会）で話し合われるべきだと考えます。 ・触法ケースに対して、入所施設や今ある制度利用対応だけでなく、横断的、複合的に支援するため、弁護士、警察など関係者及び自立支援協議会の積極的な介入をお願いしたい。

ご協力ありがとうございました・・・

寝屋川市地域自立支援協議会

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
寝屋川市障害者地域生活支援センターあおぞら（相談部門）	古賀 英俊

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
継続相談による生活支援 サービス利用計画作成とそれ以外の指定相談による生活支援 各機関会議への参加と連携 就労サポーター連絡会の事務局 退院促進強化への取り組み参加 生活訓練（訪問型）の有効性に関する研究事業	

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
<p>課題</p> <p>ケアマネジメント手法をもちいた、よりよい援助を行なうために、スタッフの力量を上げること。</p> <p>ケースを通じての連携体制作り 地域で相談支援事業所が受け持つ役割の明確化、他機関との連携や分担の協議。 地域移行のケースや引きこもりがちなケースへの対応として、訪問などのアウトリーチの実施と、そのためのバックアップ体制の保証(職員の補充)が必要。 サービス利用計画の支給対象者は、福祉サービスの利用がなくても「地域移行ケース」や「自力でのサービス調整が不可能な人」については支給対象者とすべきと考える。 就労支援のネットワーク活動への補助が必要 広汎性発達障害・高次脳機能障害・重複障害等、専門的援助の支援体制が必要</p>

その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。

ご協力ありがとうございました・・・

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
寝屋川市障害者地域生活支援センターあおぞら（地活部門）	古賀 英俊

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
安心して利用することのできるフリースペースの提供 利用者のエンパワメントを高めるための取り組み レクリエーションの機会提供 退院促進支援事業への参加と、退院促進ピアサポート事業の実施	

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
地域移行（退院促進）を進める為の連携 学校教育現場への理解普及活動を実施する事。教育関係者に対してこの重要性を訴えること。 自立支援協議会の体系内に、当事者参加の支援を行なっていくこと。 市内における他の地域活動支援センターを運営する機関との連携。

その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
寝屋川市障害者就業・生活支援センター	寺西 政克

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
<p>就業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて大阪就業者職業センターに同行し、職業評価を受け支援プログラムを作成。 ・併設、提携施設などを利用して働くために必要な短期就業訓練を実施。 ・実際の職場を活用し仕事を体験。 ・ハローワークと協働し働く職場を探します。 ・就職後も働き続けるための相談等の支援。 ・雇用啓発事業としてエルガイダンスを年1回実施。 ・枚方市障害者就業・生活支援センター主催の障害者合同面接会を後援。 	<p>運営委員会（年1回） 実務担当者会議（月1回 自立支援協議会、就労支援部会 を兼ねる）</p>

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
<p>市内における各就労移行事業所とセンターとの連携をいかにとるか？ <例>ワークセンター小路にて“ジョブガイダンスin小路”を開催。 ワークセンター小路の訓練生1名/7名就労に結びつく。 寝屋川市の庁舎での無償実習が未だ実現されていない。</p>

その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。
<p>庁舎内実習が実現できるように検討して欲しい。 病院や特別養護老人ホームでの清掃実習を受け入れてもらえるようにならないか？</p>

ご協力ありがとうございました・・・

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
社会福祉法人すばる・北斗 寝屋川市立すばる・北斗福祉作業所	理事長 大西 正禮 (すばる福祉作業所長 森 茂輝) (北斗福祉作業所長 林田弓夫)

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新事業体系10月1日移行を準備 ・ 就労支援を目標にしたグリーン科の運営 本作業所での清掃作業を足がかりに、あかつき・ひばり園での清掃作業に加え今年から環境整備を受託することになった。将来の就労への第一歩としたい。 ・ エクセディなどからの新たな受注拡大 ・ 相談支援センターすばる・北斗 相談支援専門員による障害者の生活相談と各種福祉サービスの紹介業務 ・ 日中一時支援事業 中・高校生を含む障害児者に対する作業体験・放課後対策などの日中一時支援事業を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ あかつき・ひばり園へ毎日清掃・環境整備作業と就業・生活支援センター会議に出席 ・ 相談支援ネットワーク会議への出席 ・ 日中一時支援事業の継続実施（毎週月～金・土曜日は月1回）

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の就労実態に即した支援プログラムの研究とその構築 ・ 公共事業の中で障害者を雇用できる事業の発注強化 ・ 障害者を雇用する先進企業との連携と支援ネットワークの構築 ・ 相談支援事業の指定を受けた事業所間のネットワーク強化による在宅障害者のニーズ掌握と支援成功事例の集約 ・ 日中一時支援事業での中高生受入による卒業後の日中支援を円滑に移行
<p>その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通所年限5年を過ぎてもなお新たな行き先がなく、定員を超えない範囲で継続して通所している現状があります。このままでは平成21年4月以降に定員を超過する可能性もあり、寝屋川市の今後の調整をよろしくお願いします。 ・ 医療的ケアを必要とする方を含む在宅の重度重複障害者の日中活動を保障する新たな受け皿が必要と考えます。大阪府とともに寝屋川市としてその対策をご検討ください。 ・ 相談支援センターとして府の指定を受けたが、他の事業所と同様、寝屋川市の事業委託を早期に実現してください。 ・ 日中一時支援事業の報酬額をせめて非常勤職員を雇入れることができる単価に引き上げてください。

ご協力ありがとうございました・・・

寝屋川市地域自立支援協議会

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
社会福祉法人 寝屋川市社会福祉協議会	事務局長 村山欣也

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
認知症や知的障害精神障害により判断能力が不十分な人を対象に、社会福祉協議会との契約により福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理サービス、書類預かりサービスなどを提供することにより、地域で安心して暮らせるよう支援する。	

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
平成20年4月末日現在30名の方と契約しサービスを提供しております。 本年度においては毎月平均8件(平成20年7月末現在33件)の新規相談があり、全てが本事業でのサービスが必要にないにしろ、昨年度分を含めると50件を超える待機者がいることとなります。 本年度において専門員、生活支援員の増員を図り待機者の解消を図るべく努めている。

その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。
大阪府の財政状況により、当該事業費が平成20年8月以降10%縮減されている。 事業費の縮減は、障害者等の自立を阻害するものであり、撤回してほしい。

ご協力ありがとうございました・・・

寝屋川市地域自立支援協議会

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
寝屋川市障害児者福祉施設協議会	会長 辻本 治雄（事務局 森 茂輝）

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
(1) 授産製品の販路拡張・共同定期販売～総合センター等での販売及び他団体催しへの参加 (2) 職員の研修 (3) 地域住民への理解促進～あいあい祭の開催 (4) 他団体との連携 など	月1回の例会 3部会の開催 職員研修会（年2回程度） あいあい祭など年数回

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
(1) 仕事の確保～仕事の確保について各施設が取り組むとともに、たとえば「公園清掃」などを共同して請け負うなど、施設協議会が窓口となり希望施設と連携した作業形態を作っていくよう、共同受注、共同発注に工夫・努力している。 (2) 授産製品の販売協力～総合センター、サービス処ねやがわや、はなみずきでの販売などを意識的に取り組むとともに、販路拡大のため他団体への催しにも積極的に取り組んでいる。 (3) 工賃の確保と増額への取り組み～工賃増額ができるよう仕事の受注先の確保を協力して取り組むなど情報交換を行っている。 (4) 人材確保と資質向上～職員の安定的確保と併せて職員の資質向上に向けての取り組みを行っている。

その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。
(1) 困難ケースなどの課題解決のため、現状の相談支援事業を一層強化するとともに、関係機関が集まる「サービス調整会議」（寝屋川市版）を開催されたい。 (2) 「障害者の就労促進と所得向上」を目的に、このたび官公庁は授産施設から授産品の購入、また施設や公園清掃など優先的に行うよう努力義務が課せられました。契約においても優先的に随意契約によるとされています。施設で働く障害者の工賃増設計画が叫ばれているなかであって、市からの積極的な支援をお願いしたい。 (3) また、一般就労については、障害者雇用を推進していく立場から、寝屋川市としても就業・生活支援センターなど関係機関と協力して、雇用の場を一層確保されるよう努められたい。 (4) 福祉の人材確保は今年に入りより一層厳しい現状にあります。特に「生活介護事業」には看護師の配置が義務付けられているにもかかわらず、看護師確保は相当厳しいものがあります。寝屋川市として人材確保のための対策を国、府に強く働きかけるとともに、市に登録されている人材の紹介など積極的な支援をお願いしたい。 (5) 地震や火災等による災害による障害者に対する対策がまだまだ立ち遅れているように感じます。ケアホームでの火災事例から学び、利用者の安全確保のための対策を関係者の協力を得て策定されたい。 (6) 昨年度ワークシートを作成した団体に対して、どのような検討がなされたかその結果がいまだ示されていません。今年度は関係者から出されたワークシートの内容とそれに対する検討結果を必ず公表してください。

ご協力ありがとうございました・・・

寝屋川市地域自立支援協議会

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
寝屋川市地域包括支援センター	寝屋川市高齢介護室 担当者 柴田（知）

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
<p>地域包括支援センターとして、介護予防マネジメント事業、総合相談・支援事業、権利擁護事業、高齢者の虐待防止・早期発見事業、包括的・継続的マネジメント支援事業を実施。</p>	

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
<p>地域包括支援センターは、地域包括ケアシステムの中核機関と位置づけられております。地域包括ケアシステムとは、高齢者の方が、例え介護が必要になっても、地域で生活が継続できるよう支援していくシステムです。そのためには、関係機関等との連携が不可欠であり、今後、地域包括支援センターとして、地域住民や医療機関との連携を図っていかねばならないと考えております。</p>

その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。

ご協力ありがとうございました・・・

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
寝屋川市障害者サービス事業所連絡会運営委員会	イノベーション

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
<ul style="list-style-type: none"> ・従業者を増やす為のガイドヘルパー養成研修の実施 ・障害福祉サービスを提供している事業所のサービスの質の向上を目的とした、学習会や講演会の実施 ・地域生活支援事業のサービスのあり方についての協議 	2ヶ月に1回

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービスを受けたいと考えている方々が増える一方で、従業者の人数が少ない事や、新しく障害福祉で働こうと思う人の減少により、事業所側の体制が整わず、受け入れを断わる結果、多くの障害者(児)がサービスを受けることができないでいる。その背景として、報酬単価が低い為、労働内容に対して働き手が満足していく報酬を事業所が支払えないなどの原因が考えられるので、市町村と協議していく必要がある。 ・相談支援事業所との連携・活用を進め、円滑にサービス提供ができるようにしていく必要がある。 ・自立支援法などを誤って理解している事業所や、事業所によって理解度の差が大きいなどの問題があるので、勉強会などを実施し、事業所の質を向上させる必要がある。 ・事業所間のネットワークが築けていないので、ネットワーク構築に力を入れる必要がある。

その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・寝屋川市障害者長期計画には、サービス利用の目標数値が記載されているが、目標を達成したとしても、実際にどのくらいの障害者・児の方々がサービスを受けることができているのか等を調査、把握及び原因究明しなければならないのではないのでしょうか。また、その原因となっているであろう従業者の減少や事業所の現状などを考慮し、障害福祉施策を考えていく必要があるのではないのでしょうか。

ご協力ありがとうございました・・・

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
寝屋川市域精神障がい者自立支援促進会議	寝屋川保健所

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
1、必要があると考えられる、精神科病院入院者の退院促進 2、精神障がい者が安心して暮らすことができる支援システムの整備 3、退院者を積極的に迎え入れられる支援システム整備	長レベル会議 年1回 実務担当者会議 月1回 （作業部会である退院促進支援システム整備検討会を含む）

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
会議で明確化された課題 家族サポート 多様な訪問系サービスと日中活動の場の整備 ケアマネジメント手法による支援の定着化 わかりやすい情報伝達と意欲向上への働きかけ 居住支援システムの構築 関係職員や市民への理解促進 圏域全体で退院促進を進める体制整備
取り組みを行なっている内容 1、家族サポートに協力（課題の に対応） 退院を強く反対している家族への支援に協力（課題の に対応） 家族教室（入院者家族対象）の開催（課題の に対応） 2、意欲が乏しい人への働きかけ 地域スタッフが繰り返し病棟に訪問（課題の に対応） 退院促進ピアサポーターとの交流会の開催（課題の に対応） 3、退院促進支援事業対象事例その他必要な事例について支援のあり方を検討（課題の に対応） 4、関係職員や市民に、地域で暮らす精神障がい者の姿や退院促進支援事業について伝える研修会を開催（課題の に対応）

その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。
上記した退院促進支援システム整備検討会の中で明確化された課題の解決 とりわけ は寝屋川市域地域自立支援協議会との連携が重要と考えられる

ご協力ありがとうございました・・・

寝屋川市地域自立支援協議会

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
大阪府中央子ども家庭センター	企画情報室 赤井 計洋

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい児施設利用のための障がい児施設受給者証の交付 ・ 療育手帳新規交付、更新のための判定業務 上記業務をスムーズに進めるとともに、面接・検査時において、保護者等のニーズ把握に努め、必要に応じて、情報提供を行ったり、適切な支援機関へのつなぎを行うなどにより、支援を行うこと。	

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
<ul style="list-style-type: none"> ・ ショートステイサービス利用について、必要なときに利用できる施設が少ない。 ・ 障害児の放課後や学校等の長期休業中の際の見守りやフォロー体制が必要である。 ・ また、放課後児童クラブ等の指導體制の充実が必要ではないか。

その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。

ご協力ありがとうございました・・・

寝屋川市地域自立支援協議会

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
大阪府立寝屋川支援学校	大島みどり

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
<ul style="list-style-type: none">・ 障がい福祉、作業所、就労・生活支援センター、ハローワーク等の諸機関との連携を密にとるようにしており、生徒の進路、卒業生のアフターケアがスムーズに行えるように考えている。・ 保護者の施設見学講演会を開催し、実際の現状を確認したり、情報を多く得ることによって進路を考えてもらうようにする。	

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
<ul style="list-style-type: none">・ 重度の障害を抱えている生徒、医療的ケアの生徒の卒業後の居場所がどんどんせばまっているのでなんとか考えてほしい。・ 家庭での生活環境が厳しい生徒にとって通勤寮などは必須であるが、なかなか入りにくくなっている。・ 保護者、生徒共にボーダーであり、そういう家庭のケアが増えている。特に就労、職訓を目指す生徒が気にかかる。

その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。
<ul style="list-style-type: none">・ 就労した生徒や職業訓練所に行った生徒のアフターケアの充実が必要である。特に保護者の方に生活能力の力が弱いとなおさらである。・ 就労と障害者基礎年金のかかわりについて知りたい。

ご協力ありがとうございました・・・

寝屋川市地域自立支援協議会

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
寝屋川市障害児者を守る親の会	会長 朽見 圭子

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
教育・福祉に関わる学習及び運動	三役会（毎月1回） 役員会（毎月1回） 地区委員会（毎月1回） 各部会（3部会毎月1回） 編集（機関紙発行のため月5回） その他学習会等（年間6回）

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援学校建設に向けて、府への要望 ・ 重度障害者医療制度の見直しをさせない。（存続、維持） ・ 特別支援教育の充実について ・ 乳幼児問題について ・ 自立支援法の学習とその問題点と課題の整理 ・ 親亡き後の生活の問題 ・ 入所施設について ・ 就労支援（ジョブコーチの養成）等 ・ 医療リハビリ問題について ・ 地域生活について

その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者負担の撤廃 ・ 障害児教育の充実を求め、発達保障の視点を見失わない。 ・ 制度からもれ落ちる障害者へのセーフティーネットをどう考えるか？ ・ 重度障害者の地域生活への支援をどうするか？（特に知的障害の重い人への支援、車椅子を利用している人への支援）また、将来への不安をどう解消するのか？市としての責任はどこにあるのか？ ・ 学卒後の障害者の労働の場をどうするか？

ご協力ありがとうございました・・・

寝屋川市地域自立支援協議会

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
精神障害者家族会みつわ会	大沢 保夫

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
みつわ会の各作業所が新体系に移行するための（ランニングコスト）資金集めに協力	月1回

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等

その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。
他障害に比べて精神障害者にはグループホームや援護寮が非常に少ない。 親亡き後当事者はどうするのか。他障害と比べて世間や身内からも理解が薄い。 将来のグループホーム設立に向けて行政も考えてほしい。私達も他、関連機関の指導を仰ぎ勉強していく。

ご協力ありがとうございました・・・

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
相談支援ネットワーク会議	事務局：寝屋川市民たすけあいの会 地域生活支援センター

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
月に1回の相談支援ネットワーク会議の開催。相談支援事業所の相互連携と情報交換を主に行っている。総合相談窓口の開設にむけての取り組みや相談受付表の統一書式の開発、パンフレットづくりなど。	月1回

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
<p>5つの委託相談支援事業所がそれぞれの特色を生かした中で、しかし、3障害一本化の流れの中で、どのように相互連携と研鑽をつみ、円滑な連携を行っていくべきかが課題</p> <p>そして、その中に、現在、加わっている就業・生活支援準備センターと指定の相談支援事業所などとの連携のあり方や精神の医療機関のケースワーカー、社協、地域包括センター、子ども家庭センター、保健所など地域の相談機関と広くネットワークづくりを今後どのように行っていくのかが課題</p> <p>障害者自立支援法の支給決定プロセスの中で、相談支援事業所の役割の明確化と利用者サイドにたった支給決定の仕組み作づくりの必要性</p> <p>利用者にとって、相談支援事業の垣根を下げていくための総合相談窓口の開設が必要</p>

その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源の不足 学童期の療育支援、児童の日中一時、短期入所、移動支援の事業所、成人期の日中活動の場 ・ワンストップの相談支援ネットワークのあり方の検討が必要。学齢前 - 学齢期 - 成人期 - 壮年期 - 老年期のライフステージにおける一貫した相談支援体制が必要で、特に、教育関係との連携の必要性。総合相談窓口の開設。 ・発達障害や高次脳機能障害、軽度の知的障害 + 精神障害の重複、といった制度の「すきま」になっている人たちの支援と支援ネットワークの構築の必要性

ご協力ありがとうございました・・・

障害者・児関係機関（ネットワーク）実施・協議内容 ワークシート

機関名（会議名称）	代表者（事務局）
寝屋川市障害児関係機関協議会（五者協）	寝屋川市保健福祉部障害福祉課

主な取り組み内容:現在、力を入れて取り組んでいることなど	会議実施状況（回数）
<p>「寝屋川市障害児関係協議会実務者会議」は、健康増進課、こども室、家庭児童相談室、障害福祉課、児童サービスどんぐり教室、あかつき・ひばり園、教育委員会学務課・教育指導課・社会教育課、寝屋川保健所、中央子ども家庭センター、寝屋川支援学校、交野支援学校、が参加し、乳幼児から学童児を中心とした18歳未満の障害児を対象に、保健・福祉・教育に関する意見交換を行っている。</p>	<p>月1回 寝屋川市障害児関係機関協議会実務者会議</p>

協議会等ネットワーク、もしくは会議開催されている機関のみの記入で結構です

それぞれの機関、団体、部会が取り組み（協議）の上での課題、強化点等
<p>H20年度課題として確認している点は以下の内容である。</p> <p>保育所・幼稚園における障害児保育の充実の課題。特に、H19年度から民間保育園での障害児保育が始まり、その動向や 公立保育所の民営化が進むなか、今後の保育所における障害児保育の取り組み状況について。</p> <p>公立幼稚園での特別支援教育の推進に向けて、体制や取り組みについて。</p> <p>平成19年度から本格実施した特別支援教育の動向をふまえて、就学前の機関（幼稚園、保育所、あかつき・ひばり園）と小学校との引継ぎ等連携について。教育指導課の巡回相談員と市内各機関の発達相談員との連携について。</p> <p>留守家庭児童会がH20年度より全校非常勤化される中で、障害児や養育問題を抱える家庭への対応について。特に、どの留守家庭児童会も定員がいっぱいのなか、高学年障害児が利用できる資源が少ない問題について。</p> <p>どんぐり教室の待機児への対応について。</p> <p>あかつき・ひばり園の今後のあり方について（「療育機能の充実、体制強化」「毎日通所することの意義」「必要に応じた療育保障として幼稚園・保育所等との並行利用」「学童期の療育機能強化に向けた連携のあり方」等）。</p>

<p>その他、障害者・児の地域自立支援について貴機関の協議内容・実施内容に関わらず、自立支援協議会を通じて提言することがあれば、ぜひご記入ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・学童期の療育支援の資源が乏しい。 ・日中一時支援や、短期入所の利用ができる事業所が少ない。

ご協力ありがとうございました・・・